

市政総合アンケート調査「京都市の国際化」・二次分析の結果について

市政総合アンケート調査「京都市の国際化」については、報告書において各設問における回答結果がまとめられたところであるが、現時点での課題を把握し、今後の国際化に係る施策を検討するにあたり、さらなる詳細な分析が必要と考えられたため、属性（年代、行政区）と設問の回答との関係、さらには異なる設問の回答間の関係について分析を行った。

その結果、以下の傾向を見出すことができた。

1 年代による差異について

地域の国際化に対する意識については、概ね、20歳代が高く70歳以上が低くなっているが、単純に年代が若いほど積極的、というわけではない。特に、30歳代が年代順とは異なる動きを示している。

→ 参考までに、「地域に住む外国籍市民等との近所づきあいへの関心」※について、30歳代の関心の低さが疑問であったため、全世代について主婦（主夫）とその他に分けて比較したところ、主婦（主夫）は30歳代、40歳代が関心のピークである一方で、その他では30歳代において関心が低下していた。

※ 得点平均 20歳代>40歳代>50歳代>30歳代>60歳代>70歳以上

2 職業による差異について

地域の国際化に関して、学生が最も高い意識を有している一方で、無職者（60歳代、70歳代が大半）の意識が低い。

3 行政区間での差異について

地域の国際化に対する意識にについて、行政区間の差異はない。

「地域に住む外国籍市民等との近所づきあいへの関心」、「外国籍市民への期待」、「外国籍市民の増加に対する意識」、「京都市として進めるべき取組」…いずれについても行政区間で有意差なし。

4 国際交流・国際協力に関する経験や、日常的な外国人等との交流の有無による差異について

国際交流・国際協力に関する経験や、日常的な外国人等との交流の有無が、外国籍市民への期待や、外国籍市民の増加に対する受け止め方について影響を及ぼしている。

＜国際交流・国際協力に関する経験の有無について＞

- 「海外旅行」の経験があるだけでも、「外国籍市民の増加に対する意識」として「多様な文化、価値観の理解が進む」と回答する率が高くなる、という結果が出ている。
- 「コミュニケーションの必要性が高まり、地域のつながりが強まる」という設問についても、「海外旅行」「外国人との交流イベント、国際セミナーなどへの参加」といった経験がある方が、肯定的な回答の率が高くなっている。

＜日常的な外国人等との交流の有無について＞

- 「外国籍市民への期待」に関しては、全ての項目で、交流経験があるグループの方が、外国籍市民に対して高い期待を抱いている。
- 「外国籍市民の増加に対する意識」に関しては、設問によって有無による影響が異なっている。
（「日本の文化や伝統を大切にしようとする気運が高まる」と「地域のルールへの意識が高まる」について、交流経験の有無による違いが見られない。）
- 「京都市として進めるべき取組」に関しては、全ての項目で、交流経験があるグループの方が、京都市の取組に対して必要性を強く感じている。

＜参 考＞各設問の平均得点によるグループ別比較

1 年代による差異について

(1) 「地域に住む外国籍市民等との近所づきあいへの関心」について

20 歳代＞40 歳代＞50 歳代＞30 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

※ 70 歳以上は、すべての年代と有意差あり。

(有意差については $P<0.05$ 以下同)

(2) 「外国籍市民への期待」について

- ・「外国の文化や言語を地域に発信すること」

20 歳代＞50 歳代＞40 歳代＞30 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

- ・「地域での活動に参加し、地域に溶け込むこと」

50 歳代＞20 歳代＞40 歳代＞30 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

※ 70 歳以上は、すべての年代と有意差あり。

- ・「周囲の住民と日常的にあいさつを交わすなどのコミュニケーションをとること」

20 歳代＞40 歳代＞30 歳代＞50 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

※ 70 歳以上は、すべての年代と有意差あり。

- ・「日本語や日本の文化を学ぶこと」

30 歳代＞40 歳代＞20 歳代＞50 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

※ 70 歳以上は、すべての年代と有意差あり。

- ・「日本の生活ルールや習慣を守ること」

20 歳代＞40 歳代＞50 歳代＞30 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

(3) 「外国籍市民の増加に対する意識」について

- ・「多様な文化、価値観の理解が進む」

20 歳代＞40 歳代＞50 歳代＞30 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

※ 70 歳以上は、すべての年代と有意差あり。

- ・「地域の活性化につながる」

20 歳代＞40 歳代＞50 歳代＞30 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

※ 70 歳以上は、すべての年代と有意差あり。

- ・「日本の文化や伝統を大切にしようとする気運が高まる」

50 歳代＞40 歳代＞20 歳代＞60 歳代＞30 歳代＞70 歳以上

- ・「地域住民の減少や高齢化に歯止めがかかる」

40 歳代＞20 歳代＞50 歳代＞60 歳代＞30 歳代＞70 歳以上

- ・「地域のルールへの意識が高まる」

50 歳代＞40 歳代＞60 歳代＞20 歳代＞30 歳代＞70 歳以上

- ・「コミュニケーションの必要性が高まり、地域のつながりが強まる」

20 歳代＞50 歳代＞40 歳代＞60 歳代＞30 歳代＞70 歳以上

(4)「京都市として進めるべき取組」について

- ・「外国への情報発信」

20 歳代＞50 歳代＞40 歳代＞30 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

- ・「外国からの観光客，留学生を増やすこと」

20 歳代＞40 歳代＞50 歳代＞60 歳代＞70 歳代＞30 歳以上

- ・「外国への留学のサポート」

20 歳代＞40 歳代＞50 歳代＞30 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

- ・「海外のイベント，国際会議の誘致」

20 歳代＞50 歳代＞40 歳代＞60 歳代＞30 歳代＞70 歳以上

- ・「外国企業の誘致」

※ 世代間有意差なし

- ・「国内企業の海外進出のサポート」

20 歳代＞40 歳代＞30 歳代＞50 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

- ・「専門家の派遣，技術者の受入など，共同研究や技術協力」

20 歳代＞50 歳代＞40 歳代＞70 歳代＞60 歳代＞30 歳以上

- ・「外国人就労の機会を増やすこと」

20 歳代＞40 歳代＞50 歳代＞60 歳代＞30 歳代＞70 歳以上

- ・「多様な文化，習慣，言語を学ぶ機会の提供」

20 歳代＞40 歳代＞30 歳代＞50 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

- ・「地域の行事やイベントに外国籍市民等が参加しやすい環境づくり」

20 歳代＞40 歳代＞50 歳代＞30 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

- ・「地域のルールなど身近な情報を外国語で提供すること」

20 歳代＞40 歳代＞50 歳代＞30 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

- ・「案内標識，交通機関，公共施設，観光施設などにおいて外国語の案内を増やすこと」

20 歳代＞50 歳代＞60 歳代＞40 歳代＞30 歳代＞70 歳以上

- ・「外国籍市民等への生活支援の充実」

20 歳代＞50 歳代＞40 歳代＞60 歳代＞30 歳代＞70 歳以上

- ・「日本文化や美しい景観など京都らしさを守り育てること」

20 歳代＞30 歳代＞40 歳代＞50 歳代＞60 歳代＞70 歳以上

2 職業による差異について

(1) 「地域に住む外国籍市民等との近所づきあいへの関心」について

学生＞会社員・公務員＞その他＞自営業・自由業＞主婦（主夫）＞無職

※ 学生，無職はいずれも，すべてのグループと有意差あり。

(2) 「外国籍市民への期待」について

- ・「外国の文化や言語を地域に発信すること」

学生＞その他＞主婦（主夫）＞会社員・公務員＞自営業・自由業＞無職

※ 無職はすべてのグループと有意差あり。

- ・「地域での活動に参加し，地域に溶け込むこと」

学生＞会社員・公務員＞その他＞主婦（主夫）＞自営業・自由業＞無職

※ 無職はすべてのグループと有意差あり。

- ・「周囲の住民と日常的にあいさつを交わすなどのコミュニケーションをとること」

学生＞会社員・公務員＞主婦（主夫）＞自営業・自由業＞その他＞無職

※ 無職はすべてのグループと有意差あり。

- ・「日本語や日本の文化を学ぶこと」

学生＞会社員・公務員＞自営業・自由業＞主婦（主夫）＞その他＞無職

- ・「日本の生活ルールや習慣を守ること」

会社員・公務員＞その他＞学生＞自営業・自由業＞主婦（主夫）＞無職

(3) 「外国籍市民の増加に対する意識」について

- ・「多様な文化，価値観の理解が進む」

学生＞会社員・公務員＞その他＞主婦（主夫）＞自営業・自由業＞無職

※ 無職はすべてのグループと有意差あり。

- ・「地域の活性化につながる」

学生＞会社員・公務員＞主婦（主夫）＞その他＞自営業・自由業＞無職

※ 学生はすべてのグループと有意差あり。

- ・「日本の文化や伝統を大切にしようとする気運が高まる」

会社員・公務員＞学生＞その他＞主婦（主夫）＞自営業・自由業＞無職

- ・「地域住民の減少や高齢化に歯止めがかかる」

学生＞会社員・公務員＞主婦（主夫）＞その他＞自営業・自由業＞無職

- ・「地域のルールへの意識が高まる」

学生＞主婦（主夫）＞自営業・自由業＞その他＞会社員・公務員＞無職

- ・「コミュニケーションの必要性が高まり，地域のつながりが強まる」

学生＞会社員・公務員＞主婦（主夫）＞その他＞自営業・自由業＞無職

(4)「京都市として進めるべき取組」について

・「外国への情報発信」

学生＞自営業・自由業＞その他＞会社員・公務員＞主婦（主夫）＞無職

※ 無職はすべてのグループと有意差あり。

・「外国からの観光客，留学生を増やすこと」

学生＞その他＞会社員・公務員＞自営業・自由業＞主婦（主夫）＞無職

※ 無職はすべてのグループと有意差あり。

・「外国への留学のサポート」

学生＞その他＞会社員・公務員＞自営業・自由業＞主婦（主夫）＞無職

※ 無職はすべてのグループと有意差あり。

・「海外のイベント，国際会議の誘致」

学生＞その他＞会社員・公務員＞自営業・自由業＞主婦（主夫）＞無職

・「外国企業の誘致」

※ グループ間有意差なし

・「国内企業の海外進出のサポート」

学生＞会社員・公務員＞その他＞自営業・自由業＞主婦（主夫）＞無職

・「専門家の派遣，技術者の受入など，共同研究や技術協力」

学生＞その他＞会社員・公務員＞主婦（主夫）＞自営業・自由業＞無職

・「外国人就労の機会を増やすこと」

学生＞その他＞会社員・公務員＞主婦（主夫）＞自営業・自由業＞無職

・「多様な文化，習慣，言語を学ぶ機会の提供」

学生＞その他＞会社員・公務員＞主婦（主夫）＞自営業・自由業＞無職

※ 無職はすべてのグループと有意差あり。

・「地域の行事やイベントに外国籍市民等が参加しやすい環境づくり」

学生＞その他＞会社員・公務員＞主婦（主夫）＞自営業・自由業＞無職

・「地域のルールなど身近な情報を外国語で提供すること」

その他＞学生＞主婦（主夫）＞会社員・公務員＞自営業・自由業＞無職

※ 無職はすべてのグループと有意差あり。

・「案内標識，交通機関，公共施設，観光施設などにおいて外国語の案内を増やすこと」

学生＞主婦（主夫）＞その他＞会社員・公務員＞自営業・自由業＞無職

・「外国籍市民等への生活支援の充実」

学生＞その他＞主婦（主夫）＞会社員・公務員＞自営業・自由業＞無職

・「日本文化や美しい景観など京都らしさを守り育てること」

学生＞その他＞会社員・公務員＞主婦（主夫）＞自営業・自由業＞無職

※ 無職はすべてのグループと有意差あり。

3 行政区間での差異について

- ・「地域に住む外国籍市民等との近所づきあいへの関心」,
 - ・「外国籍市民への期待」,
 - ・「外国籍市民の増加に対する意識」,「京都市として進めるべき取組」
- … 以上, いずれについても行政区間で有意差なし。

4 国際交流・国際協力に関する経験や, 日常的な外国人等との交流の有無による差異について

(1) 「国際交流・国際協力に関する経験の有無」について

「外国籍市民の増加に対する意識」について

- ・「多様な文化, 価値観の理解が進む」

「海外旅行」の経験の有無

… ある>ない

※ 本設問に対し「とてもある」と回答したものについては, いずれの経験についても, 有無間で有意差が見られた。

また, 「あまりない」「どちらともいえない」といった回答についても, 大半の経験について, 有無間で有意差が見られた。

- ・「地域の活性化につながる」

「海外旅行」の経験の有無

… 有意差なし

- ・「コミュニケーションの必要性が高まり, 地域のつながりが強まる」

「海外旅行」の経験の有無

… ある>ない

「外国語や外国文化を勉強」した経験の有無

… 有意差なし

「外国人との交流イベント, 国際セミナーなどへの参加」経験の有無

… ある>ない

(2) 「日常的な外国人等との交流の有無」について

ア 「外国籍市民への期待」について

- ・「外国の文化や言語を地域に発信すること」 … ある>ない
- ・「地域での活動に参加し, 地域に溶け込むこと」 … ある>ない
- ・「周囲の住民と日常的にあいさつを交わすなどのコミュニケーションをとること」 … ある>ない
- ・「日本語や日本の文化を学ぶこと」 … ある>ない
- ・「日本の生活ルールや習慣を守ること」 … ある>ない

イ 「外国籍市民の増加に対する意識」について

- ・「多様な文化, 価値観の理解が進む」 … ある>ない
- ・「地域の活性化につながる」 … ある>ない
- ・「日本の文化や伝統を大切にしようとする気運が高まる」 … 有意差なし
- ・「地域住民の減少や高齢化に歯止めがかかる」 … ある>ない
- ・「地域のルールへの意識が高まる」 … 有意差なし
- ・「コミュニケーションの必要性が高まり, 地域のつながりが強まる」 … ある>ない

ウ 「京都市として進めるべき取組」について

- ・「外国への情報発信」 … ある＞ない
- ・「外国からの観光客，留学生を増やすこと」 … ある＞ない
- ・「外国への留学のサポート」 … ある＞ない
- ・「海外のイベント，国際会議の誘致」 … ある＞ない
- ・「外国企業の誘致」 … ある＞ない
- ・「国内企業の海外進出のサポート」 … ある＞ない
- ・「専門家の派遣，技術者の受入など，共同研究や技術協力」 … ある＞ない
- ・「外国人就労の機会を増やすこと」 … ある＞ない
- ・「多様な文化，習慣，言語を学ぶ機会の提供」 … ある＞ない
- ・「地域の行事やイベントに外国籍市民等が参加しやすい環境づくり」 … ある＞ない
- ・「地域のルールなど身近な情報を外国語で提供すること」 … ある＞ない
- ・「案内標識，交通機関，公共施設，観光施設などにおいて外国語の案内を増やすこと」 … ある＞ない
- ・「外国籍市民等への生活支援の充実」 … ある＞ない
- ・「日本文化や美しい景観など京都らしさを守り育てること」 … ある＞ない